



インスピレーションになるう



長井ロータリークラブ



Weekly report

国際ロータリー会長 パリー・ラシン

長井ロータリークラブ会長 遠藤 伴明
 幹事 那須 修
 例会日 毎週火曜日 12:15~13:15
 事務局 長井商工会議所内 TEL0238-83-2047
 E-mail: info@nagai-rc.jp

第2800地区ガバナー 上林 直樹
 第6ブロックガバナー補佐 高橋 眞己
 例会場 タスパークホテル TEL0238-88-1833
 URL: http://www.nagai-rc.jp
 会報委員 (横澤寿彦 伊藤克也 村田 剛 中島 浩 土屋茂樹)

【11月・特別月間】ロータリー財団月間

例会報告 No.13 (通算 第2766回) 2018年(平成30年)11月6日(火)号

本日の例会(11月13日)

◎ゲスト卓話(例会場 PMO:15)
 黒澤 栄氏
 (日本アルカディアネットワーク代表取締役)

次回の例会(11月21日)

(11月20日の振替例会)
 ◎記念植樹＝長井中央RC共同事業
 長井市陸上競技場・PM13:00より、
 昼食はありません。終了後、50周年桜寄贈
 地(桜大橋南堤防)の補植実施

前回例会の報告



SAA勢揃い

○黙祷 渡部保太郎PGの逝去を悼み
 ○斉唱 国歌・四つのテスト

会長の時間(挨拶)

会長 遠藤伴明

こんにちは、お久しぶりです。先月は、第一週に梅津さんの入会式がありましたがその後は渡部保太郎会員のご逝去に伴う休会、続く第三週、第四週と地区大会、四クラブ合同例会があり、その振替で通常例会が無かったために一か月ぶりの例会となります。振り返ると保太郎さんが亡くなったことは当クラブにとって何か大きなものを失ったと思う気持ちは私だけでなく

皆さんも同じだと思います。これからは保太郎さんがクラブに寄せた思いを大事にして進めていきたいと思います。

今月も今週、来週は通常例会で第三週は休日のある週で本来なら休会となる週ですが、昨年に続き市の総合運動場に樹木の贈呈式があり例会扱いとさせて頂き、翌週を振替の休会としますのでお間違えの無いようにお願いします。昨年は、当クラブが主管となっていた行いましたが今年は長井中央RCさんが主管となつての贈呈式になるわけですが、昨年は多くの中央RCの方々に参加して頂いたため、今年は当クラブからも多くの会員の参加をお願いしたいと思います。植樹の後は懸案であった土手の桜の整備を渡邊前会長が市に要望していただきやっとな実現することになりましたので時間のある方は是非参加をお願いします。



さて話は変わりますが私の住む大町に摂取院というお寺があるのですが、今のご住職は私と同級生でしてそのお父さんの前住職が先週末に亡くなったと聞きまして親戚や近しい知人であればすぐにもこの辺で言う顔出し、お線香をあげに行くのですが、なんでも近親者での密葬で本葬は来春ということを知り、はて？自分の菩提寺のお寺様が亡くなるというのは初めてのことでお寺には普通とは違ったしきたりがあるのではなどと思いどうしたものかと考えていた時に、そううちのクラブにはそういう事に詳しい人間がいるじゃないかと思い「お仏壇のさいとう」齋藤会員に電話をしました。すると「普通檀家であれば本葬の時でよいと思いますが、遠藤さんは同じ町内で今のご住職とは

同級生なので行かれれば立派だと思います」とアドバイスを受けてすぐにお線香をあげに行きました。そのときロータリーは色々な職業のプロがいるわけなので分からない事があれば聞けばいいんだと思いロータリーはいいものだと感じました。今日は、会員卓話で寒河江会員の話が聞けます。知らないことを知ることができると思います。今日もよろしくお願いします。

★地区大会にて当クラブ表彰紹介



R I 会長賞

ガバナー賞

- ・2017-18 年度の活動に対する表彰。所定項目の達成による。この他、渡部 P G に対する特別表彰が行われた。(週報 11 号掲載済)

★2017-18 ロータリー財団認証バナー授与紹介



(左) 100%ロータリー財団寄付クラブ認証バナー
正会員全員が寄付分類に関わらず R 財団に一人当たりの平均寄付額が 100 ドルに達しているクラブに贈られる。

(右) 「Every Rotarian, Every Year」認証バナー
正会員全員が、一人当たりの年次基金平均寄付額が 100 ドルに達しているクラブに贈られる。

幹事報告

幹事 那須 修



- ・国際ロータリー事務総長より、渡部 P G の逝去にあたりお悔やみが届きました。
- ・2019 年度国際大会（ハンブルグ）参加募集案内
- ・天童 RC より第 10 回蔵王スキー交流会のご案内
2019 年 2 月 3 日（日）11 時
中央グレンデ フォレストイン・サンゴロー
- ・本年 11 月の R レート 1 ドル = 112 円
- ・第 10 回理事会の案内
11 月 13 日（火）AM 11:30 から
タス 1 階会議室 12 月プログラム他
- ・酒田スワン RC 事務所移転のお知らせ
新住所 〒998-0836 酒田市入船町 5-1
シティハウスグレイプ 102 号

お祝い・表彰（11月）

報告 中島 浩

- ・本人誕生日：尾形和夫会員（16 日）土屋茂樹会員（8 日）
- ・奥様誕生日：梅津喜博会員（13 日）
- ・結婚記念日：塚田弘一会員（2 日）遠藤伴明会長（26 日）
横澤寿彦会員（3 日）齋藤裕之会員（11 日）
那須 修幹事（7 日）大道寺信会員（23 日）

※在籍（10 月）表彰：

- 横澤寿彦会員（17 年）
- 遠藤伴明会長（11 年）
- 齋藤圭央会員（8 年）
- 村田 剛会員（3 年）



委員会報告

○ロータリー情報・広報・ICO 委員会（伊藤克也会員代）

- ・ガバナー月信 11 月号紹介
地区大会・野口健氏講演記事
新入会員梅津喜博氏
- ・ロータリーの友 11 月号紹介
R 財団管理委員会より
沖縄で 3 代続く女性会長記事



○社会奉仕・青少年奉仕委員会（前田昌信委員長）

- ・記念植樹（長井中央 RC と共同事業）
11/21（水）PM 13~14:00
続き、さくら大橋の補植実施
PM 14:30~



ニコニコ BOX

報告・尾形和夫会員

- ・遠藤 伴明会長
寒河江会員の卓話を楽しみにしております。そして、1 カ月ぶりの例会宜しくをお願いします。
- ・伊藤 克也副会長
久しぶりの例会で会員が集うことは嬉しいことです。
- ・齋藤裕之会員
4 クラブ合同親善ゴルフ大会で優勝しました。



BOX ありがとうございました。

本日金額： 6,000 円

累計金額：103,500 円

出席報告

委員長 中島 浩

- ・本日の会員数 27 名、全出席数 22 名
で出席率は 81.48% です。
- ・前回（10 月 21 日分）の出席率は、
41.67% に確定します。



簡単に自己紹介します。S40年山形市生まれ53歳です。鶴岡(営)に入社し庄内に15年勤務時に結婚し子供は3人です。現在は山形に二世帯住宅に8人で住んでいます。勤務は殆ど県内(県外は宮城)勤務で、この度天童営業所より長井電力センターに転勤になりました。長井はH18~22に勤務しまして、何かの機会にロータリーの会合で「点鐘」の思い出があります。よろしくお願いします。



(卓話) 地層処分

電力の話でなく畑違いの話となりますが、放射性廃棄物の地層処分について話します。
以下、資料(NUMO原子力発電環境整備機構)抜粋掲載

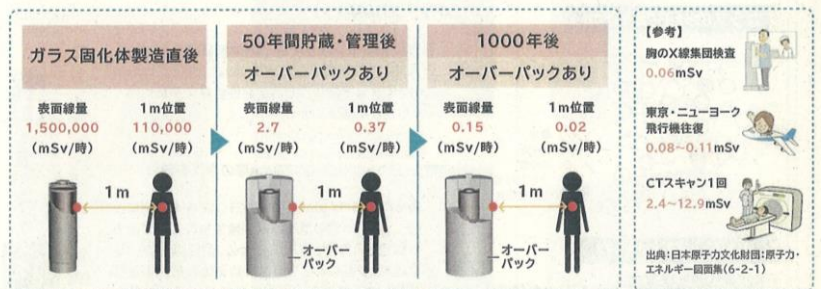
地層処分を行う放射性廃棄物について

エネルギー資源に乏しい日本では、原子力発電所で使い終えた燃料から再利用できるウランやプルトニウムを取り出し、再び燃料として利用することとしています。これを「原子燃料サイクル」といいます。

この過程で残る放射能の高い廃液を高温のガラスと融合させ、ステンレス製容器に流し込んで固めたものをガラス固化体(高レベル放射性廃棄物)といいます。これを地下300m以深に地層処分します。

■ガラス固化体からの放射線影響の減少

製造直後のガラス固化体はさまざまな放射性物質を含んでおり、強い放射線を出しています。この放射線は時間とともに減っていきます。



■ガラス固化体1本あたりの放射能の変化

ガラス固化体の放射能は、製造直後から50年間でその約80%が、1000年間で99.9%以上が失われます。その後、放射能はゆっくりと減少し続けますが、人間に及ぼす影響を考えると、数万年以上にわたって人間の生活環境から遠ざけておく必要があります。



ガラス固化体

現在、日本には約2,300本ある。使用済燃料全体を再処理すると25,000本になる。

地層処分について

地層処分は、地下深くの岩盤が持っている「物質を閉じ込める性質」を利用して、原子力発電にともなって発生する高レベル放射性廃棄物を地下深くの安定した岩盤に閉じ込め、人間の生活環境や地上の自然環境から隔離して処分する方法です。

高レベル放射性廃棄物の地下深部の安定した岩盤への処分が最適であるということは、国際的に共通した考え方です。

■地下深部の特徴

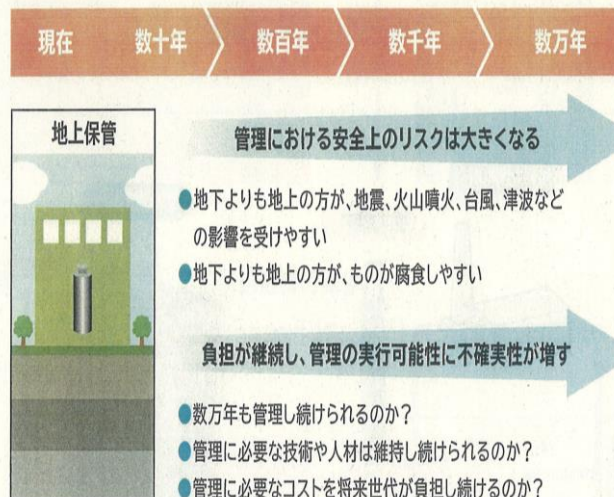
- ①酸素が少ないため、錆びなどの化学反応が発生しにくく、ものが変化しにくいので、埋設物がそのままであり続ける
- ②地下水の流れが遅く、ものの動きが非常に遅い

閉じ込め機能

- ③人間の生活環境や地上の自然環境の影響を受けにくい

隔離機能

■地上保管のリスク：地上保管ではリスクが次第に増大します

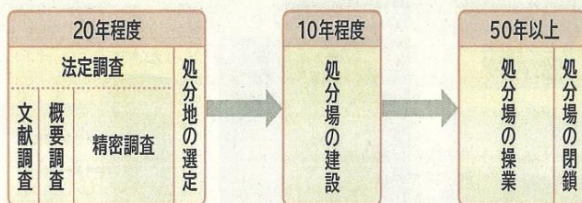


地層処分事業の概要

文献調査の実施を受入れていただいた市町村で、法律に定められた3段階の調査（「文献調査」2年程度、「概要調査」4年程度、「精密調査」14年程度）を段階ごとに合意をいただきながら順次実施し、その結果に基づいて原子力規制委員会に事業許可を申請します。

事業許可を得た処分地で、地下及び地上に必要な施設の建設を進め、完成すれば順次操業を開始します。地下の坑道などは操業と並行して処分区画ごとに建設を続けます。操業終了後は、地下施設を埋め戻し、地上施設を撤去し、最終的に更地に戻します。

法律に定められた3段階の調査には20年程度かかり、処分場の建設、操業、閉鎖までの期間を含めると地層処分事業は100年以上の長期にわたります。



海外における地層処分の状況

高レベル放射性廃棄物の最終処分は、日本のみならず原子力を利用してきた全ての国に共通する課題です。地層処分は高レベル放射性廃棄物を処分する最も実現性の高い方法であると国際的に認知されており、フィンランドとスウェーデンでは処分地が決定し、特に、フィンランドでは2016年12月より処分施設の建設が開始されるまでに至っています。

■海外における高レベル放射性廃棄物の地層処分事業の進捗状況



- ・現在、地層処分事業に手をあげている自治体は無い。
(当地区は、活断層の関係で「好ましくない特性があると推定される地域」とされている。)